

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数	理科
桜ヶ丘小	わずかに下回った	わずかに下回った	わずかに上回った
埼玉県	68	58	58
全国	66.8	58.0	57.1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質 問 事 項	桜ヶ丘小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食っている	97.6	94.3	93.6
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.3	83.1	81.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	97.6	91.9	91.0
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で調べ方を考え、工夫することはできている	85.9	84.8	81.9
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	81.2	56.3	54.0
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	27.1	22.0	21.5
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	31.9	31.9	31.1
教科への関心	国語の勉強は好きだ	56.5	59.3	41.5
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.1	92.2	90.6
	算数・数学の勉強は好きだ	64.7	58.7	57.9
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	96.4	93.0	91.8
	理科の勉強は好きだ	81.2	81.4	80.1
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	82.2	81.7	79.9
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	82.3	84.9	80.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	71.8	75.7	68.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	78.8	82.9	77.9
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	85.8	87.9	84.9
その他	自分には、よいところがあると思う	83.5	88.5	87.0
	将来の夢や目標をもっている	90.6	84.8	83.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	94.1	96.8	96.4
	今住んでいる地域の行事に参加している	41.1	39.1	39.4

公表例

【質問紙分析】

・学習習慣の項目で、「学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする」項目は県・全国平均と比べて高い割合を示している。本校は、1時間～3時間勉強する割合がおよそ7割であり、埼玉県も全国もおおよそ4割程度である。

全国の平均正答率と比較して上回った問題○と課題のある問題●

【国語】

- 1三(1)
自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。
- 3一
時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。
- 1一
目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討することができていなかった。
- 1三(2)
話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができていなかった。

【算数・数学】

- 3(4)
異分母の分数の加法の計算をすることができる。
- 4(1)
伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。
- 1(1)
棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみることができていなかった。
- 4(2)
設問から適切な数字や単位を見つけ出すことや、それらの数字や言葉を使って式や求め方を書き表すことができていなかった。

【理科】

- 3(1)
ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。
- 3(4)
レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができる。
- 2(1)
身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が十分身に付いていなかった。
- 3(2)
顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が十分身に付いていなかった。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・授業のふり返りや新聞ワークシート、視写、聴写、要約など、書く活動を授業の中で工夫して取り入れるようにする。
- ・国語科に限らず、算数、理科、社会などでも学んだことを文章に表現する活動を教科横断的な視点で、意図的に取り入れる。

【算数・数学】

- ・学びポケットにおける問題やコバトン問題、ドリルパークに取り組むようにする。
- ・考えをまとめ、記述する活動を授業の中に多めに取り入れる
- ・深谷市全体で取り組んでいる学力向上プロジェクトに取り組み、正答率の低い問題について、解説等してから2回目を実施し、学習の成果を見届けるようにする。

【理科】

- ・基礎的な用語や知識を身に付けさせ、根拠や理由まで伝える話合い活動を取り入れた授業を行う。
- ・観察、実験などから得られた結果について、解決する問題や、予想や仮説などを基に、分析して、解釈し、結論を導き出すなど、自分の考えをもつことができる活動や場面などを授業の中に取り入れる。

